

I うるおいとやすらぎのあるまち 250万円

●優歩道歩いてみ隊 (250万円)



新津川や能代川沿い及び秋葉公園などにある遊歩道を区民協働により環境整備を行う(新津川遊歩道クリーン作戦・遊歩道の環境整備・案内板設置等)

II 楽しく元気なまちなかとかたやさしさのあるまち 679万円

●アキハで認知症サポートネット (65万円)

認知症高齢者やその家族にやさしいまちを目指し、認知症に関する知識の普及・啓発と関係機関との連携強化を図る(認知講演会・認知症サポーターステップアップ講座等)

●「つながる」「つなげる」障がい者支援 (69万円)



障がい者理解を広げてつながることを目的とし、支援システムづくりを行う。(つながる支援ファイル作成・保護者支援講座・授産品販売支援)

●地域ぐるみでフレイル予防 (90万円)

高齢期のフレイルを予防し、健康寿命の延伸を図る(フレイル予防教室・フレイル予防の啓発・ロコモ予防運動普及サポーターのフォロー研修等)

●アキハで子育てサポート (455万円)

地域で安心して子育てができるよう育児に関する事業を実施(子育てサロン・パパママ向けプチ講座・子育てサポーター派遣講座・2人目の子育て支援等)

III 歴史と個性を活かすまち 742万円

●秋葉「鉄道物語」 (337万円)

鉄道に関する施設や歴史、人材などの地域資源(宝)を、商店街、地域住民、子どもたちとともに活用し、「鉄道の街」への愛着と誇りを育みながら、まちなか活性化と交流人口の増加を図る(JR東日本(株)との共催イベント・阿賀と会津との観光連携・あ!キハ観光案内所運営等)

●アキハの宝子ども探検ツアー (35万円)

秋葉区独自の宝(個性)を地域や団体と連携し、子どもたちの発見、体験の場として活用することにより、子どもたちのふるさとへの愛着と誇りを醸成する(小学生対象のまち歩き体験、里山探索・教育懇談会等)

●アキハスムプロジェクト Vol.2 (270万円)

秋葉区の特長・魅力をブランド化し発信し、シビックプライドの熟成を図る市民活動に取り組み新たな人材の発掘(「Akihaきらきらプロジェクト」運営等)移住・定住のための仕組みづくり(秋葉区移住体験ツアー等)



●文化遺産情報発信事業 (100万円)

史跡「新津油田金津鋳場跡」など、秋葉区内の文化遺産の情報を発信し、地域資源として活用(「秋葉区文化財マップ」改訂に向けたワークショップ開催等)

IV 花のまち・食のまち・育てるまち 587万円

●花が迎えるまちづくり事業 (150万円)

R403号フラワーロードを美しい季節の花で彩り、「花のまち」秋葉区をPR(翌年以降も開花できる花の苗や球根の植え付け等)

●アキハ花一番PR事業 (367万円)

秋葉区から北海道や広島など遠方市場に出荷される鉢花の輸送支援の社会実験を行い、関東市場への一極集中を是正し、全国へ出荷される鉢花の全体価格の底上げ(需給調整)に効果があるか検証する



●稲架木で地域農業活性化推進事業 (70万円)

昔ながらの米づくりを体験し農業や食べ物への関心を高め、区民が農業者を応援したくなるきっかけをつくり地域農業の活性化を図る(手植えによる田植え体験・手刈りによる稲刈り体験・稲架木へのはさかけ体験等)

V 生み出し活かすまち 185万円

●アキハもち麦推進事業 (135万円)

健康食「もち麦」を地域ブランドに発展させることを目指し、農業振興と販売・消費拡大等を図る(区内産もち麦の取扱い店舗数の拡大・加工品等の商品開発支援等)

●社会起業家発掘・養成事業 (50万円)

新型コロナウイルス感染拡大により社会変化が生じる中、経済団体や大学などと連携し秋葉区から世界に通用する人材を育成する(区内の子どもたちを対象に「プログラミング講座」を開催)



区自治協議会提案事業 457万円

複雑・多様化する地域課題に対応し、市民力・地域力を活かしたまちづくりを進めるため、区自治協議会の提案をその主体的な取組のもとに事業化する

●アキハおとな大学 (61.2万円)

●ひな・お宝めぐり (80万円)

●きらめきサポートプロジェクト (123万円)

●秋葉区区民幸福度調査 (80万円)

●公共交通利用促進 (30万円)

●コミュニティFMを活用した自治協議会PR事業 (82.8万円)

令和3年度秋葉区の主な取り組み

「花と緑に囲まれた笑顔咲きそろうにぎわいのあるまち」
「特色ある区づくり予算」は
この様なかたちで使われています



秋葉区に住んだ人と住んでいた人が「住んでよかった」というプロジェクトのシンボルマーク